

標 題 飯南町初！（農）長谷宮農組合が「美味しまねゴールド」取得

（ダイジェスト）

飯南町の農事組合法人 長谷宮農組合が、令和2年1月9日付けで、米（コシヒカリ、つや姫等）の美味しまね認証上位認証（美味しまねゴールド）を取得されました。飯南町での上位認証取得は第1号です。

（農）長谷宮農組合では、農業の生産工程を管理し、安全で美味しい県産品であることを知事が認証する「美味しまね認証」の上位基準「美味しまねゴールド」を、町内では初めて取得され、この度、雲南農業普及部長を通じて、認証書が授与されました。

長谷宮農組合では、平成27年12月に基本認証を取得されており、この度、更新時期を迎えるにあたり、「今後は上位認証が標準になる」との観点から、上位への移行を決定されました。

雲南農業普及部では、上位認証取得に向けた現地指導を計5回実施し、役員とともに、適合基準と照らし合わせながら、書類・ほ場等の点検・確認を行いました。そして、昨年10月25日に現地審査が行われ、1月9日の審査委員会で認証取得が決定しました。

長谷宮農組合では基本認証の取得（GAPの導入）により、「組合員の安全に対する意識が向上した、使用数量の管理・徹底により、不要在庫の削減につながった」などの効果があったとのことですが、上位認証に向け取り組んだことで「従来曖昧だった工程を改善することができた、リスク評価を通して、これまで見過ごしてきたリスク部分を明文化できた」との声が聞かれました。役員だけの取り組みとするのではなく、組合員皆に認識してもらうことに注力されており、授与の際、組合長からは、「とにかくしつこく言い続けること、末端まで取り組みを浸透させることが重要」と話されました。

雲南地域では、関係機関・団体で構成する「雲南地域GAP推進協議会」を主体としてGAPを推進しており、普及部では、今後も取り組みを希望される生産者に対し、研修会等の場を活用してGAPの啓発を行い、関係機関で進捗状況を共有しながら、生産者への認証取得に向けた活動支援や、認証取得者へのフォロー活動などを行います。



現地指導の様子



美味しまね認証書授与時の様子

